

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1421号 1998年03月16日(月)

〈 ambiguous agreement 〉

インドネシアまで出かけた橋本首相と同国スハルト大統領との会談は、一定の成果は報道されていますが、なぜ首相が今のこの時期に出かけたのかの背景や、今回のインドネシアと IMF の両方に配慮した玉虫色の合意が今後どのようなマーケット・リアクションを生むのか、またこれに対して IMF サイドやアメリカがどう出るのかが不明のままに終わりました。市場が望んだのは、明確なルピア下支え合意でしたが。

伝えられるところによると、スハルト大統領は IMF との間で合意した経済構造改革の実行を促した橋本首相に対して、「自分も弾力的になる用意がある」としながらも、IMF も柔軟になるべきであり、そうすれば通貨ルピアのドル連動性導入に必ずしもこだわらない考えを示したと言う。また、ハビビ副大統領は日本の与党三党首脳との会談で、IMF と合意した経済構造改革策の50項目のうち、48項目を実行に移すことができるとの認識を明らかにしたという。既に合意した改革策のうち「これとあれは出来る。これは出来ない」というもおかしな話ですが、インドネシアも国内政治圧力との対応を迫られているということでしょう。

市場や国際社会のインドネシアに対する懸念(それに伴うルピア売り圧力)は、同国が憲法との不一致などを理由に IMF との間で合意した改革策を放棄するのではないかと、いうもの。理由は、「憲法違反」。しかし、援助国である日本の立場に配慮したのか、スハルト大統領は橋本首相との会談では再び IMF に接近する立場をとって国際社会の反発に配慮した。

IMF の幹部やアメリカのリプトン財務次官が既にジャカルタ入りしており、今週は IMF の第二次支援などを巡って協議に入る。IMF とインドネシアの協議が難航して、IMF の対インドネシア支援の実行がさらに遅れるようだと、ルピアを巡る緊張は再び高まり、これがアジア通貨全体を不安定にさせる恐れがある。また、インドネシアの政治情勢も依然不安定なままであり、マレーシアなどに流出するインドネシア難民の増加と合わせて今週も市場の焦点の一つとなります。

国内を見ると、景気は予想以上のペースで悪化していることが鮮明となりました。日本の景況悪化は、このニュースでも指摘してきた通りです。1997年の実質経済成長率については、23年ぶりにマイナスになる見通しとなっている。これを受けて、アメリカは

再び日本に積極財政を迫っている。サマーズ財務長官は13日の記者会見で、「(マイナス成長の可能性が高まったことを)強く懸念している」と述べ、

財政処置による内需刺激
金融システム安定
規制緩和による市場開放

を強く要望。海外からの圧力ばかりでなく、橋本政権に対しては国内からも「何かすべきだ」という圧力が生じており、選挙を数ヶ月後に控えているという政治環境もあって、「悪くなれば悪くなるほど橋本政権は何かせざるを得ないだろう」という一種の楽観論につながっている。株式市場でそれは郵便貯金・簡易保険の自主運用資金による株式購入観測につながって、例えば金曜日の日本の株式市場では株価が大きく上昇した。

しかし、経済の回復見通し、企業業績の上向き見通しが無い現状では、株価の反発も持続的なものにはならないでしょう。株価を押し上げているうちに、企業業績が回復してくれば話は別ですが、その可能性はこの需要不足の中では期待薄です。PKO とか PLO などという単語が日本の株式市場で聞かれる間は、市場は本物ではない。

《 declining U.S. inflation rates 》

アメリカでは引き続きインフレは極めて落ち着いている。2月の卸売物価は、1月の0.7%低下(改訂)の後を受けて、0.1%低下した。アメリカの卸売物価は指数、これで4ヶ月連続の低下。同指数は、過去14ヶ月のうち、上昇したのはわずか2ヶ月だけであとは横這いか低下。

欧州(EU)連合通貨評議会はこの週末に、欧州通貨制度の為替相場メカニズム(ERM)へのギリシャ・ドラクマの参加と、アイルランド・ポンドの約3%の切り上げを決めた。実施は16日から。ドラクマのERM参加の際の為替レートについては、13日の実勢に対して約14%の切り下げになる1ECU=357ドラクマに決められた。ギリシャにまでERM参加の道が開かれたことで、イギリスのERM参加への圧力は今後強まることが予想される。依然として残るERMへの多くの疑念にもかかわらず、欧州は通貨統合への道をひた走っていると言える。

今週の主な予定は次の通り。

17日(火曜日)

松下日銀総裁記者会見

3月の産業動向

2月のマネーサプライ

2月の米鉱工業生産(0.1%増予想)

2月の設備稼働率

18日(水曜日)	LJR、三菱の週間小売り販売報告 2月の米住宅着工(1.4%増予想) 日銀が金融政策決定会合議事要旨を公開 グリーンスパンが世界の金融に関して議会証言
19日(木曜日)	ドイツ連銀理事会 1月の米貿易収支(114億ドルの赤予想)
20日(金曜日)	2月の米財政収支(388億ドルの赤予想)

《 have a nice week 》

週末は良い天気でしたが、風があったり急に寒くなったりと気ぜわしかったですね。特に日曜日の風は凄かった。昼から青山で一つ会合があったので出かけたのですが、夕方帰るころには、体をもっていかれるほどの強い風でした。まあそうした中、絵画館前のあの並木は歩行者天国になっていて、Blade Skate でホッケーをやっている連中が二組くらいいました。歩行者天国といっても歩行者はほとんどいなくて、彼らが道路を独占使用していた。なかなかおもしろそうです。アスファルトの上でやりますから、転んだら大変痛いと思いますが、皆うまかった。Blade Skate はローラー・スケートのローラーをブレードのように細くしたスケートです。これを見たかったら、日曜日の午後に絵画館前に行けば見られる。

週末に読んだニュースでは、「1995年の1月25日に、世界は核戦争勃発の縁に立っていた」というワシントン・ポストの記事が衝撃的でした。結構長い記事で、二回シリーズの最初の記事。アメリカとスウェーデンが打ち上げたロケットをロシアがアメリカからの核弾頭と区別できなかったためという。ロシアの軍隊が置かれている厳しい経済環境や伝えられる規律の乱れを考えると、ちょっとぞっとする話です。

今週は、週の後半に名古屋におじゃまします。皆様には、良い一週間を。

<http://www.ycaster.com/>